

2013年度 事業報告書

特定非営利活動法人NIED・国際理解教育センター

1 事業実施の概略

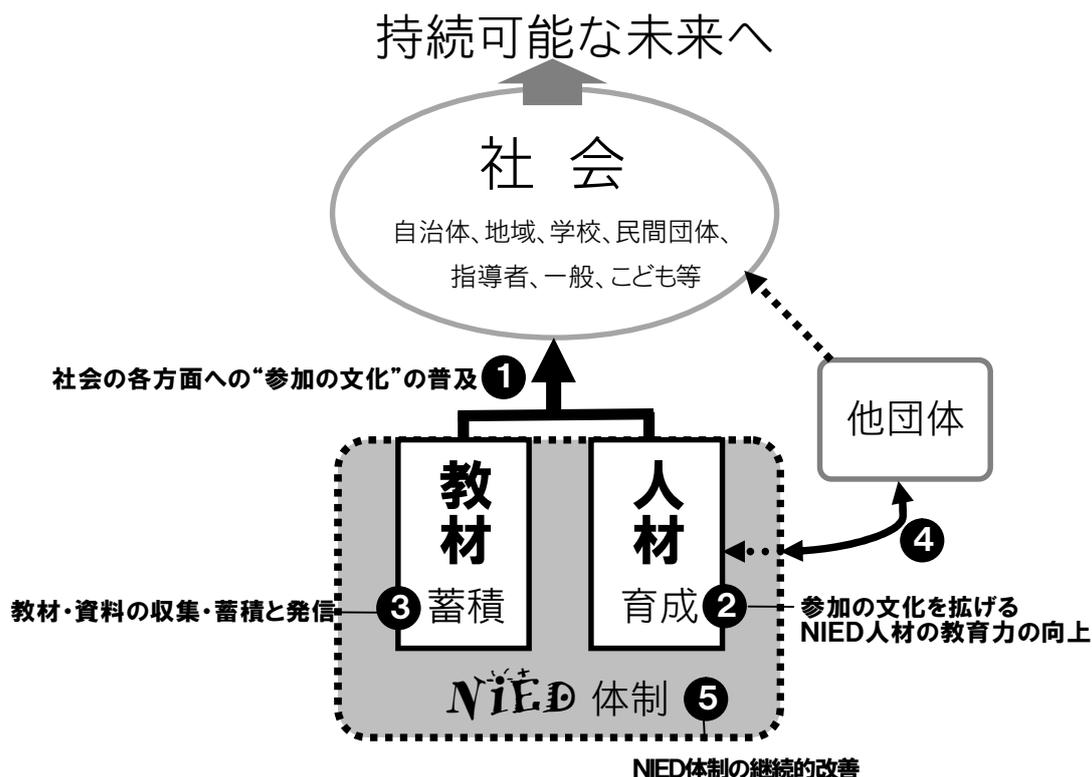
(1) NIEDのミッション

お互いから学び合う力、参加する力、共働して創り出す力を育むための場と方法を提供し、市民一人ひとりが個別に持つ能力と持ち味を最大限に活かし、自分自身と自分たちの暮らす地域や地球に心を配り、参加と対話を通して環境や人権など様々な課題を解決していくという“参加の文化”を拡げ、持続可能な未来を築く。

(2) ミッション実現のための方針

NIEDのミッション実現のために、次の5つの方針に従い、事業を行った。

方針	解説
① 社会の各方面への“参加の文化”の普及	NIEDが持つ人材と教材を活かし、社会の各方面に対して、お互いから学び合う力、参加する力、共働して創り出す力を育むための場と方法を提供する。
② 参加の文化を拡げるNIED人材の教育力の向上	NIEDのミッションの具現化を担う人材である、ワークショップを進行するファシリテーター、プロセス全体をマネジメントするコーディネーターを、育成する。
③ 教材・資料の収集・蓄積と発信	NIEDメンバーの経験知、関係団体や学識者の先行知見を収集・整理し、BQOE(Better Quality of Education)のための教材として、蓄積、プログラム開発、ワークショップや教育教材提供を通して発信を行う。
④ 他団体との理念の共有による参加の文化の拡大	東海地方を中心として、他団体との顔の見える関係の中から、参加の文化の共通理念を共有することを通して、参加の文化を広める。
⑤ NIED体制の継続的改善	上記の方針を実現するために、NIEDの運営方法やシステムを絶えず点検・評価し、より良くする。



(3) ミッション実現のための方針に対する2013年度の総括

① 社会の各方面への“参加の文化”の普及

指標による総括 2013 年度に行った 31 の業務を、概況、テーマ、地域、主催者、ワークショップの時間数、ファシリテーター数の指標で評価した。

<2013 年度の業務の概況>

◇参加の文化を拓げる指標の結果は下表のとおりである。全体的な傾向としては、直近5年間の業務数は、概ね 30 件前後で推移している。ワークショップ (WS) 提供日数、WS 提供時間、WS 参加者数、延べ参加者数のいずれも 2012 年度より減少しているが、直近5年間で均すと概ね平均的な数値といえる。同様に、新規依頼数・率についても、直近5年間の平均的な数値となっている。若手のNIEDファシリテーターが担う一般研修を受けるケースが増えていることから、指導者研修率は、直近5年間で最も低い 58%となったが、概ね 60%というラインは維持しているといえる。

指標名	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
業務数	28	27	34	32	31
WS提供日数	104	127	128	147	137
WS提供時間	355	422	397	432	409
WS参加者数	1,227	1,104	1,774	1,680	1,383
延べ参加者数	2,338	2,553	3,582	3,444	2,772
新規依頼数	11	14	17	11	13
新規依頼率	39%	52%	50%	34%	42%
指導者研修率	61%	59%	59%	59%	58%

<業務のテーマ> 基礎講座は除く

◇国際理解系 (多文化共生を含む) が 12 件と依頼の約半分を占め、次いで人権系 (セルフエスティーム・子どもの参画を含む) 8 件、環境系 5 件、まちづくり・団体支援系 5 件であった。2012 年度比では、子どもの権利関係の依頼が複数からあり人権系が増えている。

テーマ	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
国際理解系	14 件	15 件	16 件	16 件	12 件
人権系	5 件	3 件	10 件	4 件	8 件
環境系	3 件	3 件	2 件	4 件	5 件
まちづくり・団体支援系	4 件	4 件	4 件	6 件	5 件

<業務を行った地域>

◇愛知県が 22 件と最多で、次いで隣県の岐阜・三重・静岡県が 7 件、香川県・徳島県は 2 件であった。2012 年度比では、概ね同様な傾向であるが、その他遠県等が 0 件となっている。

地域	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
愛知県	19 件	17 件	23 件	22 件	22 件
香川・徳島県	3 件 [2,1]	2 件 [1,1]	2 件 [1,1]	2 件 [1,1]	2 件 [1,1]
岐阜・三重・静岡県	3 件 [0,3,0]	7 件 [2,4,1]	6 件 [1,2,3]	6 件 [2,3,1]	7 件 [4,2,1]
その他遠県等	3 件 群馬、広島、北海道	1 件 群馬	3 件 群馬、長野、大阪	2 件 京都、長野	0 件 -

<業務の主催者>

◇最も多い業務の主催者は、NPO（自主講座を含む）の 11 件であった。次いで、教育団体系（教育委員会や学校など）が 10 件、自治体系（地方自治体や地域国際化協会など）が 8 件、JICA が 2 件であった。前年度比では、教育団体系が増え、NPO系が減っている。

主催者	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
自治体系	11 件	10 件	10 件	8 件	8 件
教育団体系	7 件	8 件	15 件	8 件	10 件
NPO	5 件	7 件	6 件	13 件	11 件
JICA	3 件	2 件	3 件	2 件	2 件
その他民間団体	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件

<1 業務あたりのワークショップの時間>

◇3～4 時間が 11 件と最も多く、次いで 12 時間超 8 件、3 時間未満が 6 件、6.5～12 時間が 5 件などであった。2012 年度比では、4 時間以下が 6 件増え、4.5 時間以上が合計で 7 件減っている。2013 年度は短時間の単発の依頼が 2012 年度よりも増えたことがわかる。

業務あたりの WS 時間	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
3 時間未満	6 件	3 件	12 件	9 件	6 件
3～4 時間	10 件	4 件	4 件	2 件	11 件
4.5～6 時間	3 件	7 件	4 件	6 件	1 件
6.5～12 時間	2 件	2 件	4 件	5 件	5 件
12 時間超	5 件	11 件	10 件	10 件	8 件

<依頼ファシリテーター数、時間(担当)> 自主講座は除く

◇依頼ファシリテーター数(複数回講座でも1人で担う場合は1人として計上)は、48人と直近3年間は40人台を維持している。

◇代表の請負率(代表率)をみると、人数ベースで42%、日数ベースで51%であり、2012年度比では、人数ベースでは6ポイント増えている。

ファシリテーター		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度 (人ベース)	2013年度 (日ベース)
代表	伊沢	21	18	23	16	20	81
研究員	平野	4	3	4	6	2	2
	伴	2	5	2	3	3	20
	茅谷	1	2	2	1	2	4
	久世				1	2	23
	川合		2	3	4	6	13
	滝	1		1	2	1	1
	山田		1	5	1	2	4
研究員補等	田中		1				
	吉岡		1	1			
	坪井		1	1	1	1	1
	堀川			3	2	3	3
	永谷			1	1	3	3
	中西あ			1	1	1	1
	山田裕				1		
奥田				3	1	1	
守屋					1	1	
合計		30	36	48	44	48	158
代表率		70%	50%	48%	36%	42%	51%
備考 (複数F依頼)		なし	愛知学院(4)	愛知学院(4) 中京大(3)	愛知学院(2) 中京大(3) NANGOC(2) 春日小(3) 小幡小(3)	愛知学院(2) 中京大(3) NANGOC(4) 小幡小(3) 国理セミナー(3)	

手だてに対する総括 事業計画で挙げられた具体的な手だてについての成果と課題は次のとおりである。

体制や仕組み	具体的手だて	総括
<p><受託業務> 事務局 (代表・事務局長)</p>	<p>◇研修・講座の依頼を受け付け、打合せや準備を円滑に行う。 ◇教員や自治体職員などの指導的立場を対象にした研修等について、アンテナを敏感にし、必要に応じて、企画提案を行う。</p>	<p>【成果】 ◇依頼先のニーズに応えつつ、国際理解教育のテーマや参加型スキルを基に、31の業務において、参加の文化を広めることができた。 ◇新規依頼率42%→一定の新しい場への参加の文化の普及ができた。 ◇指導者研修率約6割を維持し、研修を受けた指導者を通じた参加の文化の広がりを持つことができた。</p> <p>【課題】 ◇営業的なことは、ホームページ、ブログ、フェイスブックなどのみで、直接的PRは行えてない。 →助成金を含めた営業について検討、業務の焦点化を図る必要。</p>
<p><受託業務> 研究員制度 (研究員、 研究員補、 T講座F経験者)</p>	<p>◇受託・派遣事業のうち、複数人数を必要とするもの、代表の都合が付かないもの、地域に根ざした事業でその地域に住むファシリテーターが実施した方が効果的と考えられるものに対し、NIED内部で人材育成した「研究員等」を派遣する。</p>	<p>【成果】 ◇代表以外がファシリテーターを担う割合が概ね5割であり、バランスよく研究員制度を機能させながら、受託・派遣事業で参加の文化を広めることができた。</p> <p>【課題】 ◇プロセスファシリテーターが必要な業務を代表以外が受けられる機会が必要。</p>

<p>自主講座</p>	<p>◇NIEDが実践・推進する国際理解教育のテーマや参加型のスキルを学ぶ場を広く提供する。</p> <p>◇人権、環境、共生、平和などのテーマを学ぶ場は、「参加型で世界は変わる～NIEDテーマ・ワーク講座(T講座)」として6時間×数回の連続講座として実施する。</p> <p>◇わたし・あなた・みんなに関わる力、参加型のファシリテーションについて学ぶ場は、「参加型で世界は変わる～NIEDファシリテーター編(F講座)」として、年間、6時間×3回以上の連続講座として実施する。</p>	<p>【成果】</p> <p>◇T講座:セルフエスティーム、コミュニケーション、人権、環境(水)、環境(生態系)、教育をテーマに、全6回の講座を開催し、24名(延べ65名)の参加者に提供することができた。</p> <p>◇T講座:延べ65名のうち、38名はNIEDメンバーであり、NIEDメンバーが継続的に国際理解教育を学ぶ機会となった。</p> <p>【課題】</p> <p>◇T講座:参加者24名のうち、一般からは11名(うち2名はこの機にNIEDへ入会)であり、一般からの参加の割合が50%未満と低い。</p> <p>◇F講座:2013年度は開催できなかった。</p>
--------------------	--	---

② 参加の文化を拡げるNIED人材の教育力の向上

手だてに対する総括 事業計画で挙げられた具体的な手だてについての成果と課題は次のとおりである。

体制や仕組み	具体的手だて	総括
<p>(新) NIED 定期寄り合い 担当:伴</p>	<p>◇国際理解教育講座を修了したNIED会員相互のファシリテーションフォーアップの場として、2ヶ月に1回開催し、アクティビティ体験、国際理解教育のテーマ別研究などを通して、相互に学び合う。</p>	<p>【成果】</p> <p>◇2012年度はほとんど開催できなかったNIED寄り合いを定期的に年6回、F提供:10名、参加者:延べ80名で開催できた。</p> <p>◇NIEDメンバーから出たテーマについて学び合う機会となり、2014年度の自主活動への発展がみられた。</p> <p>【課題】</p> <p>◇ワークを提供するファシリテーターを、今後も定期的に確保していくことが難しい。ファシリテーターのボランティアな参加を促すためには、その場で任せることも大切。</p>
<p>国際理解教育 T講座 プロジェクト 担当:久世</p>	<p>◇NIEDファシリテーター講座を修了し、NIED寄り合いに3回以上出席(うち1回以上はファシリテーターとしてアクティビティ提供)のメンバーが、研究員または研究員補とともに、「参加型で世界は変わる～NIEDテーマ・ワーク講座」のマーケティングとファシリテーターを行う経験を通して、ファシリテーターとしての意識とスキルを学びあう。</p>	<p>【成果】</p> <p>◇研究員とNIEDメンバーがペアとなって、全6回の講座を作り上げることができた。</p> <p>◇T講座を提供する若手のファシリテーター、それをメンターとして支える研究員または研究員補双方が、講座づくりを通して着実に経験を積むことができた。</p> <p>◇NIEDファシリテーターのステップである「T講座F経験者」を新たに1人増やすことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>◇今後、よりT講座によるファシリテーターとしての成長を評価するために、メンターである研究員等によるふりかえり、評価の指標づくりが必要。</p>
<p>IVY(アイビー) 制度</p>	<p>◇NIEDファシリテーターが他のNIEDファシリテーターが実施する研修・講座等と同行し、実際にワークショップやファシリテートを見て学ぶ機会を作る。経費は自己負担で報告書提出義務あり。</p>	<p>【成果】</p> <p>◇NIEDメンバーの1人が継続的な研修で参加した。</p> <p>【課題】</p> <p>◇IVY制度を利用するNIEDメンバーを増やす。 →実施する研修・講座の周知</p>

③ 教材・資料の収集・蓄積と発信

手だてに対する総括 事業計画で挙げられた具体的な手だてについての成果と課題は次のとおりである。

体制や仕組み	具体的手だて	総括
書籍管理 プロジェクト 担当:伊沢	<ul style="list-style-type: none"> ◇NIEDで収集した書籍や資料のデータベースを作り、系統的かつ実用可能な状態に整理する。 ◇NIEDが持つ書籍・資料などをウェブ上で紹介や検索できるシステムを構築する。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇NIED の大切なテーマである「セルフエスティーム・自尊感情」関連、「オルタナティブな教育」関連の書籍は集中的に補充することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「書籍管理」システムが滞っており、書籍に関する情報共有、貸し出しシステムが十分に出来ていない。 ◇NIED 事務所の書棚が満杯であり、開架・閉架の区別をして新規購入書籍の配架スペースを確保する必要。
NIED情報 共有システム 担当:川合	<ul style="list-style-type: none"> ◇NIEDの活動の共有をメーリングリスト、ウェブにより進める。 ◇NIED自主講座の記録、NIEDの受託業務の記録、成果物など、NIEDファシリテーターをめざすメンバーと情報を共有するシステムを更新する。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇メーリングリストで、随時情報の共有を行うとともに、Dropbox で、NIED の基本的な資料(ビジョン形成に関わる資料、定款などルールに関わる資料、提出物の書式、総会資料、自主講座のチラシ、NIED 徒然のバックナンバーなど)は、全会員向けの「NIED-ShareBox-1」フォルダに随時格納できた。 ◇Dropbox の使用勧奨により、「NIED-ShareBox-1」の登録率を 74%(31/42 名)に高めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇NIED 徒然は、会員サービス及び翌月のスケジュールの把握するためにも月1回の発行は必須とする必要。 ◇Dropbox 登録率 100%にしたり、共有している NIED 情報にアクセスできていないメンバーに対して、Dropbox の導入の仕方や共有している NIED 情報の説明が必要。 ◇NIED ファシリテーター向け(T講座のファシリテーター立候補が分岐点)の「NIED-ShareBox-2」については、十分な情報の格納ができておらず、何をどのように共有する必要があるかも含め、検討が必要。
(新) NIED本 制作プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ◇NIEDのワークショップ、ファシリテーション、コミュニティづくり・運営などの考え方、スキル、モデルプログラムなど、過去積み上げてきた経験を「NIED本」としてとりまとめるための準備に取りかかる。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇具体的には手を付けられなかったが、2013 年度の最後に新たに芽吹きはじめた理想の学校プロジェクトとわたし・あなた・みんなプロジェクトを通じて、「NIED本」へつながる兆しが生まれた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇上記の兆しを、具体的に「NIED本」につなげられるよう、チームによる具体的な検討、計画立案が必要。

④ 他団体との理念の共有による参加の文化の拡大

手だてに対する総括 事業計画で挙げられた具体的な手だてについての成果と課題は次のとおりである。

体制や仕組み	具体的手だて	総括
<p>国際理解教育セミナーin なごや (実行委員会) 担当: 山田達</p>	<p>◇愛知地域の国際理解教育を進める関係団体とともに進めるセミナーの企画・立案、実施を行う。</p>	<p>【成果】 ◇セミナーへの参加者が、2012 年度の 46 人から本年度は 106 人と倍以上に増えた。また、例年より若い世代の参加が多かったり、多種多様なテーマから参加者が選択できたり、交流会への参加者が多かったりしたことから、内容的にも充実し、一定のニーズに応えたセミナーとすることができた。</p> <p>【課題】 ◇多種多様なテーマ講座選択式の良さの一方、参加者全体でテーマ横断的に共有したり、共通のものを創造する機会がなかったことについて、セミナーのあり方を含めて検討が必要。 ◇本年度多くの時間と労力を費やした5団体の協働のあり方についての議論を発展させて、参加の文化の理念を共有しながら、今後のより良い協働やセミナー等につなげていく必要。</p>
<p>外部ネットワークプロジェクト 担当: 滝</p>	<p>◇外部ネットワークの1つとして名古屋NGOセンターとの協働、連携のあり方について、話し合いの場の設定やその調整を進める。</p>	<p>【成果】 ◇NGO センターの ESD ファシリテーター育成に 2012 年度度同様に関わることができ、共通の理念を持つ意識を持つ仲間を増やすことができた。また、このプロジェクトに関わった人たちの参加の文化に帯する意識が向上した。</p> <p>【課題】 ◇今後も、名古屋 NGO センターとの協働、連携のあり方は模索すると同時に、本プロジェクトの一定の成果を確認したので、次の段階として、NIED ファシリテーターの「参加の文化」理解をさらに進め、外部とのネットワークを広げられる共通基盤を持った人材育成を重視する必要。</p>
<p>(新) 平和を創り出す学校プロジェクト 担当: 伊沢</p>	<p>◇教育を通して「人の心の中に平和の砦を築く」ことができる「学校」という場所は、平和を創り出すための現場であり、道具となりうる。そのため、学校と共働して、教育を通して、人と地域と地球をつなぎ、私たちから平和を創り出す、取り組みを始める。</p>	<p>【成果】 ◇共通の理念を共有する「こどもNPO」とのつながりの中から、共に理想の学校や学び場のあり方を考えつつ、将来的に市民立の学校を創ろうという機運が生まれた。 ◇NIED とこども NPO それぞれの関心のあるメンバーが集い、理想の学校づくりワークショップを開催し、プロジェクトを一步進めることができた。</p> <p>【課題】 ◇上記の機運を具体的に実行性のあるプロジェクトにつなげられるよう、チームによる具体的な検討、調査研究、計画立案が必要。</p>

⑤ N I E D体制の継続的改善

手だてに対する総括 事業計画で挙げられた具体的な手だてについての成果と課題は次のとおりである。

体制や仕組み	具体的手だて	総括
<p>事務所・事務局機能</p>	<p>◇事務所にあるあらゆるものの整理・整頓を進める。 ◇フリースペースの利用管理を円滑に行う。 ◇業務の円滑実施と業務に係わるNIEDファシリテーターのニーズに応える。</p>	<p>【成果】 ◇参加者 19 人のワークショップまで対応できるフリースペースの使い方を、実際の自主講座を通じて開発できた。 ◇NIED 事務所予約システムを全会員で共有し、運用することができた。 ◇NIED への問合せや新規依頼に対する事務所電話受付に関し、不在時の留守録体制を整えた。 ◇受けた依頼に対して真摯に応えることができた。</p> <p>【課題】 ◇事務所の整理・整頓は最低限ブース机の上は片付ける必要。 ◇電話受付の留守録対応をさらにより良くするため、事務所電話をモバイル対応化する必要。</p>
<p>ホームページ・広報プロジェクト 担当:川合</p>	<p>◇NIEDの理念、実績、問合せ方法などをわかりやすくまとめ、ホームページとして公開する。 ◇将来的には、国際理解教育のポータルサイト(窓口)をめざす。 ◇NIEDパンフレットなど紙媒体の活用も進める。</p>	<p>【成果】 ◇NIED の活動実績を、ブログやフェイスブックを通じて、一定数発信することができた。</p> <p>【課題】 ◇より依頼したくなるニーズに応えたインパクトがあるコンテンツを作る必要。 ◇NIED パンフレットの活用が停滞している。</p>
<p>(新) 10周年記念プロジェクト 担当:吉岡</p>	<p>◇NIED 法人化 10 周年を記念して、NIED メンバー相互の理解・交流、NIED メンバーのNIED 理解、並びにNIED の新たな 10 年を見据えたNIED メンバーのビジョンを共有するための企画を実施する。</p>	<p>【成果】 ◇集まったメンバーで、お互いのことをより深く知り合ったり、NIED 設立 10 年間をふりかえり、10 年後の実現したい未来について出し合うことができた。 ◇出し合った 10 年後の実現したい未来の要素を理事会で分析し、「NIED 村」、「NIED 学校」、「NIED 本」という3つのプロジェクトの方向性が導きだされた。</p> <p>【課題】 ◇新旧メンバーの交流を考えていたが、比較的新しいメンバーの参加が少なかった。</p>

2 事業の実施に関する事項(特定非営利活動に係る事業)

● A. 参加・対話・体験型の研修・講座などに対する相談・ファシリテーター派遣事業

(1) 事業内容

自治体、教育委員会、民間団体などからの依頼により、人権、環境、開発/国際理解、ボランティア、コミュニケーション、組織運営などをテーマとした参加・対話・体験型講座・研修にファシリテーターの派遣を行った。

(2) 開催概要

2013年度は、合計19事業(前年度:21事業)で、研修等の提供時間は121.0時間(前年度:141.5時間)あった。個別の事業の依頼主/主催、事業名/研修テーマ、実施日時、場所、対象、参加者数、提供時間、ファシリテーター・スタッフなどの詳細は、巻末一覧表を参照のこと。

(3) 延べ参加者数

1,011人(前年度:1,329人)

(4) 支出額

868,702円

(内訳) 人件費 344,917円、謝金 477,050円、旅費交通費 44,180円、消耗費 2,555円

(5) 収入額

1,357,634円 (内訳) 委託費、謝金、交通費、諸経費

● B. 基礎研修およびファシリテーター養成などの自主講座事業

(1) 事業内容

人権・環境など国際理解教育の基本テーマを扱う基礎講座と、NIED法人化10周年を記念したワークショップを自主事業として行った。

(2) 開催概要

2013年度は、合計2事業(前年度:2事業)で、研修等の提供時間は45時間(前年度:42時間)であった。

個別詳細は巻末一覧表参照のこと。

(3) 延べ参加者数

100人(前年度:93人)

(4) 支出額

362,852円

(内訳) 人件費 47,763円、謝金 240,000円、旅費交通費 31,000円、通信運搬費 14,380円、会議費 25,300円、消耗品費 1,575円、その他費用 2,834円

(5) 収入額

188,000円 (内訳) 参加費

● C. 環境や人権などを視点としたまちづくりのプロセス企画・実施事業

(1) 事業内容

地方自治体などにおける環境や人権を視点としたまちづくりのプロセス・プログラムの企画立案、ファシリテーターとしての支援、記録・報告書作成までの一連の業務を行った。

(2) 開催概要

2013年度は、合計4事業（前年度：4事業）、研修等の提供時間は199.5時間（前年度：207.5時間）のワークショップを行った。

個別詳細は巻末一覧表参照のこと。

(3) 延べ参加者数

・ 1,483人（前年度：1,599人）

(4) 支出額

13,405,594円

（内訳）人件費 4,238,383 円、謝金外注費 5,801,270 円、旅費交通費 1,489,647 円、通信運搬費 448,241 円、印刷製本費 1,231,727 円、消耗費 133,437 円、会議費 28,770 円、保険料 18,640 円、その他費用 15,479 円

(5) 収入額

16,383,641円（内訳）委託費

● D. 目的を実現するために必要な調査・研究・情報提供事業

(1) 事業内容

国際理解教育・開発教育を推進するため、「必要な調査・研究を行う」、「具体的なセミナーを開く」、「PRする」ことを、研究会方式、実行委員会方式などにより、関係団体と共働するなどして行った。

(2) 開催概要

2013年度は、6つの事業（前年度：5事業）、研修等の提供時間は43.0時間（前年度：41.5時間）のワークショップなどを行った。

個別詳細は巻末一覧表参照のこと。

(3) 延べ参加者数、主な成果物

・ 178人（前年度：423人）

・ 国際理解教育教材「世界の国を知る・世界の国から学ぶ 私たちの地球と未来」使い方マニュアル

(4) 支出額

268,917円

（内訳）人件費 64,937 円、謝金 197,000 円、旅費交通費 6,980 円

(5) 収入額

255,599円（内訳）委託費、謝金、交通費

3 会議の開催に関する事項

● 総会

(1) 定期総会

ア 開催日時および場所

2013年6月23日(日) 11時35分～13時25分、NIED事務所フリースペース

イ 議題

- ① 第1号議案 2012年度の事業報告(案) および収支決算(案)の承認に関する件
- ② 第2号議案 2013年度の事業計画(案) および収支予算(案)の承認に関する件
- ③ 第3号議案 理事改選に関する件

● 理事会

(1) 第1回理事会

ア 開催日時及び場所

2013年4月20日(土) 10時30分～13時00分、NIED事務所フリースペース

イ 議題

<報告事項> NIED2013年度の業務状況、各プロジェクトの状況、入会・退会

<協議事項>

- ① 自主講座「参加型で世界は変わる～NIEDテーマ・ワーク講座」について
- ② NIED寄り合いの交通費について
- ③ 国際理解教育セミナーの担当について
- ④ NIED10周年記念事業について

(2) 第2回理事会

ア 開催日時及び場所

2013年6月12日(水) 19時00分～21時15分、NIED事務所フリースペース

イ 議題

<協議事項>

- ① 2012年度事業実績報告(案) および収支決算(案)について
- ② 2013年度事業実績計画(案) および収支予算(案)について
- ③ 研究員制度について
- ④ 若手ファシリテーターのフォロー体制について
- ⑤ 理事改選について
- ⑥ 定款変更について

(3) 第3回理事会

ア 開催日時及び場所

2013年6月15日(土) 19時30分～20時45分、NIED事務所フリースペース

イ 議題

<協議事項>

- ①2012年度の事業報告（案）における理事評価について
- ②NIED10周年記念事業について

(4) 第4回理事会

ア 開催日時及び場所

2013年8月7日（土） 10時50分～13時30分、NIED事務所フリースペース

イ 議題

<報告事項> 各プロジェクトの状況（T講座、外部ネット、寄り合い、ホームページ）

<協議事項>

- ①国際理解教育セミナーのファシリテーターの件
- ②NIED10周年記念事業の件
- ④NIEDメンバーからのMLによる問いかけの件
- ③中京大学市民活動各論のファシリテーターの件

(5) 第5回理事会

ア 開催日時及び場所

2013年10月20日（日） 10時40分～13時00分、NIED事務所フリースペース

イ 議題

<協議事項>

- ①国際理解教育セミナーの意義と要望について
- ②10周年記念事業について
- ③テーマ・ワーク講座における他団体のアクティビティ使用について
- ④NIED寄り合いの進め方について

(6) 第6回理事会

ア 開催日時及び場所

2013年12月14日（日） 10時40分～12時50分、NIED事務所フリースペース

イ 議題

<協議事項>

- ①国際理解教育セミナーの来年度の体制について
- ②10周年記念事業の成果を活かす方向について

(7) 第7回理事会

ア 開催日時及び場所

2014年2月2日（日） 10時30分～13時20分、NIED事務所フリースペース

イ 議題

<報告事項> 各プロジェクトの状況（国理セミナー、テーマ・ワーク講座、寄り合い、外部ネット）

<協議事項>

- ①今後の国際理解教育セミナーのあり方について
- ②NIED平和を創り出す学校プロジェクトのこどもNPOとの協働について
- ③その他の来年度の新規自主事業について
- ④来年度の自主プロジェクト及びその体制について

(8) 第8回理事会

ア 開催日時及び場所

2014年3月30日(日) 10時40分～13時30分、NIED事務所フリースペース

イ 議題

<報告事項> 来年度の業務予定、各プロジェクトの状況(テーマ・ワーク講座、寄り合い、外部ネット、ホームページ・広報)

<協議事項>

- ①NIEDメーリングリストの整理について
- ②理想の学び場・学校づくりプロジェクトについて
- ③参加型市民性共育大学構想(SEラボ)について
- ④2014年度のプロジェクト担当について
- ⑤NIEDの自主講座の位置づけと名称について